

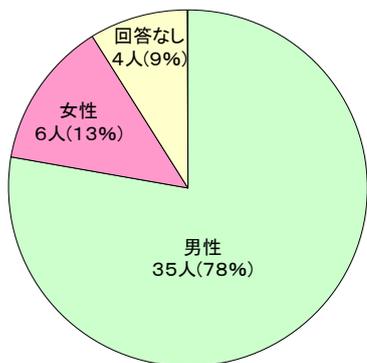
住民アンケートの結果

■調査概要

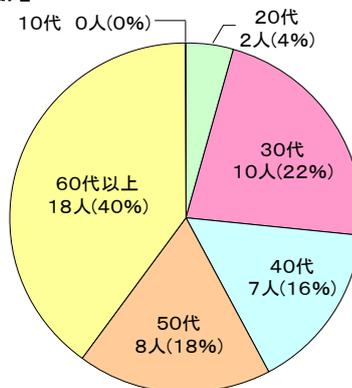
- ①アンケート回収結果：45回答
- ②設問数：全7問（【問1】～【問7】）

■アンケート回答者について

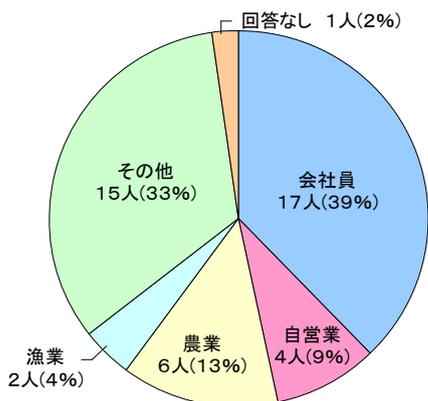
【性別】



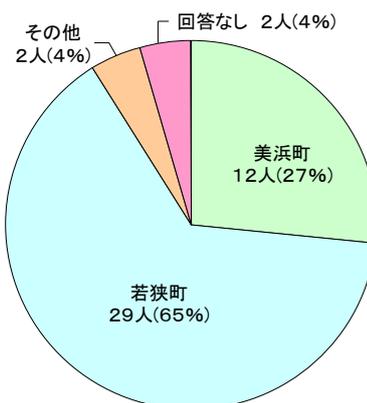
【年齢】



【ご職業】



【お住まいの場所】

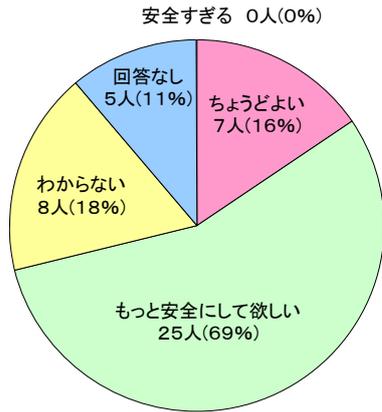


【問1】あなたの湖および川へのイメージをお聞かせください。（複数回答可）

◇自然について	自然豊か 22人	人工的 4人
◇大雨時について	大雨でも安心 0人	大雨だと危険 25人
◇川の魚について	魚が多い 3人	魚が少ない 11人
◇親しみやすさについて	近寄りやすい 2人	近寄りにくい 5人
◇水質について	水がきれい 1人	水が汚い 30人
◇景観について	すばらしい景観 20人	どこにでもある景観 1人
◇その他	1人（上流の河川は水がきれいだが、湖は汚れている。）	

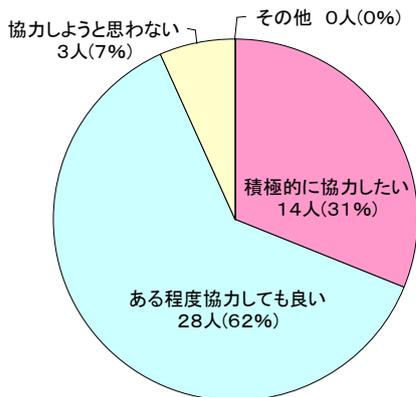


【問2】早瀬川水系における治水計画について、
どのようにお考えですか？



＜河川整備計画における対応＞
『湖の水位上昇に対し家屋の浸水被害を防ぐため、トンネル放水路を建設します。』
●福井県内のバランス等を勘案し、概ね30年に1回程度発生する降雨に対応することとします。

【問5】地域と協働した維持管理活動(草刈り、ゴミ拾いなど)についてどのようにお考えですか？

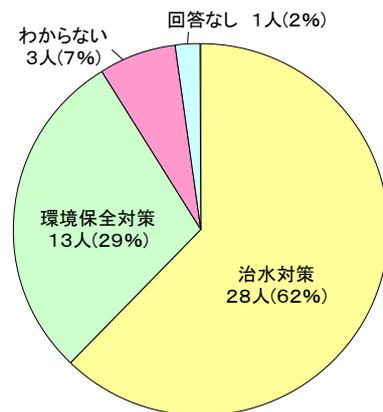


＜河川整備計画における対応＞
『住民参加による河川美化活動の推進、河川愛護精神の啓発に取り組みます。』

【問3】早瀬川水系の環境対策として、行政と協力して取り組みそうなものをお答えください。
(複数回答可)

◇水生植生帯整備(ヨシの移植、刈り取り等)	16人
◇ふゆみずたんぼ	9人
◇水田魚道(設置、維持管理)	9人
◇稚魚、稚貝の放流	23人
◇外来魚(ブラックバス、ブルーギル)の駆除	23人
◇農業使用の縮減、有機肥料の使用	14人
◇家庭における野菜くずの堆肥化	16人
◇ペレットストーブの導入	1人
◇生き物調査	6人
◇その他	0人
◇回答なし	1人

【問4】治水対策と環境保全対策、どちらを重点的に取り組んでいくべきとお考えですか？



＜河川整備計画における対応＞
『治水や河川利用との調整を図りつつ、自然環境の保全・再生に努めます。』
●治水安全度を確保した上で、環境保全に配慮し適正な維持管理に努めます。

【問6】早瀬川水系河川整備計画について、もっと考慮してほしいことや、その他意見についてお書きください。

- ・周辺域の住民は、長年水害防止を切望しています。
- ・短期的・長期的な治水対策を講じてほしい。
- ・放水路計画の一日も早い実現を願います。
- ・嵯峨隧道を協定どおりに運用してほしい。
- ・農業排水の低栄養化対策をしてほしい。
- ・三方五湖だけではなく、鱒川とその支川においても水生生物が住みやすく、遡上しやすい川を作ってほしい。
- ・やっとの思いで流域検討会の結論がでました。今後は一日も早く着工できるよう、地元の方と共に、県・町とが心をつなげて着工していただくよう、強く要望します。
- ・現状を十分に理解いただき、応急対策を考えていただきたい。

番号	性別	所在地	意見の内容	意見に対する回答	対応	整備計画記載内容
0101	男性	若狭町	・周辺域の住民は、長年水害防止を切望している。長期・短期両面に渡った治水対策を講じてほしい。 ・放水路計画の一日も早い実現を願う。	・長期的には「トンネル放水路建設」+「湖岸堤高上げ」による水害防止を講じます。 ・短期的・応急的には、現状の治水安全度を確保するため適正な河川管理に努めるほか、関係機関・地域住民と連携し、流域からの流出抑制を図るなど、下流域の洪水被害の軽減を目的とした各種方策を検討していきます。また、防災情報の提供や連絡体制の強化等により、地域住民の防災意識の向上や、迅速な避難活動への支援を図るソフト対策を推進します。 ・昨今、公共事業予算が大幅に削減される等厳しい財政状況が続く一方で、河川整備には長い期間と多額の費用が必要であり、目標を設定し着実に事業を実施していくことが重要と考えます。 ・今後は、必要となる施設設計等を実施し、早期にトンネル放水路の工事着手ができるよう、事業の進捗を図っていきますので、ご協力をお願いします。	(要望への回答) ・長期的には「トンネル放水路建設」+「湖岸堤高上げ」による水害防止を講じ、短期的・応急的には、現状の治水安全度を確保するため適正な河川管理に努めるほか、関係機関・地域住民と連携し、流域からの流出抑制を図るなど、下流域の洪水被害の軽減を目的とした各種方策を検討していきます。また、防災情報の提供や連絡体制の強化等により、地域住民の防災意識の向上や、迅速な避難活動への支援を図るソフト対策を推進します。 ・今後は、必要となる施設設計等を実施し、早期にトンネル放水路の工事着手ができるよう、事業の進捗を図っていきますので、ご協力をお願いします。	P. 18 4.1河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要 久々子湖・水月湖・三方湖において、整備計画の目標とする概ね30年に1回程度発生する降雨による洪水での湖の水位上昇に対し家屋の浸水被害を防ぐため、水月湖から世久見湾に放流するトンネル放水路を建設します。(水月湖の計画高水位T.P.+1.00m) また、現在、計画高水位より低い湖岸堤については嵩上げを行います。 その他の河川については、現状の流下能力を確保するため、堆積土砂の浚渫や、堤防の補修等、現況河道の適正な維持管理に努めます。
0102	男性	若狭町	・やっとの思いで流域検討会が、やっとな結論ができました。今後は一日も早く着工できるよう、地元の方と共に、県・町とが心一つにして着工していただくよう、強く要望致します。 ・現況を十分に理解をいただき、応急対策を考えていただきたい。	・やっとの思いで流域検討会が、やっとな結論ができました。今後は一日も早く着工できるよう、地元の方と共に、県・町とが心一つにして着工していただくよう、強く要望致します。 ・現況を十分に理解をいただき、応急対策を考えていただきたい。	・本文 P. 18 4.1河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要 ・本文 P. 21 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 ・本文 P. 24 4.3.2他機関、他施策との連携等に記載しています。	P. 21 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 (1)洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する維持管理 ③防災機能の充実 平常時においては、地域住民の防災意識向上を図るため、防災情報の周知、防災教育・訓練の実施等を行うとともに、水防団等との情報交換ならびに警戒避難体制の充実により水防体制の強化を図り、被害の防止・軽減に努めます。 また、地域住民の迅速な避難活動の実現に向け、連絡体制・情報伝達手段の強化や、避難地・避難道路を明示したハザードマップの作成等への支援、避難経路の確保等を行うとともに、「避難判断水位」等一般の人にも理解しやすいような水防用語を使用するなど、より効果的で受け手に分かりやすい情報の提供に努めます。
0103	不明	若狭町	・公共事業が減る現在、又、地球温暖化による集中した地域に降る大雨(ゲリラ雨)による地域住民の不安を解消する必要があります。しかし河川整備を実施するためには多大な費用と長い期間がかかる事から、1日でも早く整備するための財源確保に取り組んでいただく事を切に要望します。	・公共事業が減る現在、又、地球温暖化による集中した地域に降る大雨(ゲリラ雨)による地域住民の不安を解消する必要があります。しかし河川整備を実施するためには多大な費用と長い期間がかかる事から、1日でも早く整備するための財源確保に取り組んでいただく事を切に要望します。	・本文 P. 18 4.1河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要 ・本文 P. 21 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 ・本文 P. 24 4.3.2他機関、他施策との連携等に記載しています。	P. 21 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 (1)洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する維持管理 ③防災機能の充実 平常時においては、地域住民の防災意識向上を図るため、防災情報の周知、防災教育・訓練の実施等を行うとともに、水防団等との情報交換ならびに警戒避難体制の充実により水防体制の強化を図り、被害の防止・軽減に努めます。 また、地域住民の迅速な避難活動の実現に向け、連絡体制・情報伝達手段の強化や、避難地・避難道路を明示したハザードマップの作成等への支援、避難経路の確保等を行うとともに、「避難判断水位」等一般の人にも理解しやすいような水防用語を使用するなど、より効果的で受け手に分かりやすい情報の提供に努めます。
0104	男性	若狭町	・大雨(台風等)が降った場合を考えると、早く放水出来るようにして欲しい。工事着工も早急に。	・大雨(台風等)が降った場合を考えると、早く放水出来るようにして欲しい。工事着工も早急に。	・本文 P. 18 4.1河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要 ・本文 P. 21 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 ・本文 P. 24 4.3.2他機関、他施策との連携等に記載しています。	P. 21 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 (1)洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する維持管理 ③防災機能の充実 平常時においては、地域住民の防災意識向上を図るため、防災情報の周知、防災教育・訓練の実施等を行うとともに、水防団等との情報交換ならびに警戒避難体制の充実により水防体制の強化を図り、被害の防止・軽減に努めます。 また、地域住民の迅速な避難活動の実現に向け、連絡体制・情報伝達手段の強化や、避難地・避難道路を明示したハザードマップの作成等への支援、避難経路の確保等を行うとともに、「避難判断水位」等一般の人にも理解しやすいような水防用語を使用するなど、より効果的で受け手に分かりやすい情報の提供に努めます。
0105	男性	若狭町	・早く着工し、早く安心を！	・早く着工し、早く安心を！	・本文 P. 18 4.1河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要 ・本文 P. 21 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 ・本文 P. 24 4.3.2他機関、他施策との連携等に記載しています。	P. 21 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 (1)洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する維持管理 ③防災機能の充実 平常時においては、地域住民の防災意識向上を図るため、防災情報の周知、防災教育・訓練の実施等を行うとともに、水防団等との情報交換ならびに警戒避難体制の充実により水防体制の強化を図り、被害の防止・軽減に努めます。 また、地域住民の迅速な避難活動の実現に向け、連絡体制・情報伝達手段の強化や、避難地・避難道路を明示したハザードマップの作成等への支援、避難経路の確保等を行うとともに、「避難判断水位」等一般の人にも理解しやすいような水防用語を使用するなど、より効果的で受け手に分かりやすい情報の提供に努めます。
0106	男性	若狭町	・問題が発生するまでに対策を。	・問題が発生するまでに対策を。	・本文 P. 18 4.1河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要 ・本文 P. 21 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 ・本文 P. 24 4.3.2他機関、他施策との連携等に記載しています。	P. 21 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 (1)洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する維持管理 ③防災機能の充実 平常時においては、地域住民の防災意識向上を図るため、防災情報の周知、防災教育・訓練の実施等を行うとともに、水防団等との情報交換ならびに警戒避難体制の充実により水防体制の強化を図り、被害の防止・軽減に努めます。 また、地域住民の迅速な避難活動の実現に向け、連絡体制・情報伝達手段の強化や、避難地・避難道路を明示したハザードマップの作成等への支援、避難経路の確保等を行うとともに、「避難判断水位」等一般の人にも理解しやすいような水防用語を使用するなど、より効果的で受け手に分かりやすい情報の提供に努めます。
0107	男性	美浜町	・ヘドロの回収(久々子湖)	・河川および湖において、将来にわたり河川水の利用や動植物の生息・生育環境、漁業をはじめとした地域産業の基盤となる水環境が保全されるよう、水質の監視を行なうとともに、必要に応じて関係機関と連携して水質保全・改善対策等を行います。	(要望への回答) 必要に応じて関係機関と連携して水質保全・改善対策等を行います。	P. 22 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 (3)河川環境の整備と保全に関する維持管理 ①水質の保全 河川および湖において、将来にわたり河川水の利用や動植物の生息・生育環境、漁業をはじめとした地域産業の基盤となる水環境が保全されるよう、水質の監視を行なうとともに、必要に応じて関係機関と連携して水質保全・改善対策等を行います。
0108	男性	若狭町	・石組護岸、浮床で水質の改善(アオコ対策)	・石組護岸、浮床で水質の改善(アオコ対策)	・本文 P. 22 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 に記載しています。	P. 22 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 (3)河川環境の整備と保全に関する維持管理 ①水質の保全 河川および湖において、将来にわたり河川水の利用や動植物の生息・生育環境、漁業をはじめとした地域産業の基盤となる水環境が保全されるよう、水質の監視を行なうとともに、必要に応じて関係機関と連携して水質保全・改善対策等を行います。
0109	男性	若狭町	・農業排水の低栄養化対策を。	・農業排水の低栄養化対策を。	・本文 P. 22 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 に記載しています。	P. 22 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 (3)河川環境の整備と保全に関する維持管理 ①水質の保全 河川および湖において、将来にわたり河川水の利用や動植物の生息・生育環境、漁業をはじめとした地域産業の基盤となる水環境が保全されるよう、水質の監視を行なうとともに、必要に応じて関係機関と連携して水質保全・改善対策等を行います。
0110	男性	若狭町	・河川がきたない。	・河川がきたない。	・本文 P. 22 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 に記載しています。	P. 22 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 (3)河川環境の整備と保全に関する維持管理 ①水質の保全 河川および湖において、将来にわたり河川水の利用や動植物の生息・生育環境、漁業をはじめとした地域産業の基盤となる水環境が保全されるよう、水質の監視を行なうとともに、必要に応じて関係機関と連携して水質保全・改善対策等を行います。
0111	男性	若狭町	・水月湖の硫化水素を水深10m以下にする。	・自然の作用として、若狭湾から久々子湖を經由し、水月湖湖底に海水が流入しており、水月湖の水深が深いため、生成された硫化水素が滞留している状態となっています。 ・硫化水素を減らすには、湖底に酸素を供給する必要がありますが、海水が流入することで次々と生成される硫化水素を減らすことは現在の技術では困難であると考えます。	(要望への回答) ・自然作用により生成され続ける硫化水素を減らすことは現在の技術では困難と考えます。	P. 22 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 (3)河川環境の整備と保全に関する維持管理 ①水質の保全 河川および湖において、将来にわたり河川水の利用や動植物の生息・生育環境、漁業をはじめとした地域産業の基盤となる水環境が保全されるよう、水質の監視を行なうとともに、必要に応じて関係機関と連携して水質保全・改善対策等を行います。
0112	男性	若狭町	・三方五湖だけではなく、ハス川とその支流の三面張りおよび堰を水生生物が住みやすい&上りやすい川を作って欲しい。山口県で取り組まれている方法を参考にして取り組むと良いと考える。「水辺のこわざ」をいう本に書いてあります。	・現存する取水堰などの横断工作物に対しては、アユ等の回遊性魚類の移動の可否状況を調査し、改善が必要な施設については、施設の改築の時期にあわせ管理者と協議した上で、魚道の設置・改善等に関する指導・調整を図ります。 ・本文 P. 23 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 に記載しています。	(意見への回答) ・改善が必要な施設については、施設の改築の時期にあわせ管理者と協議した上で、魚道の設置・改善等に関する指導・調整を図ります。 ・本文 P. 23 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 に記載しています。	P. 23 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 (3)河川環境の整備と保全に関する維持管理 ②動植物の生息・生育・繁殖地の保全 現存する取水堰などの横断工作物に対しては、アユ等の回遊性魚類の移動の可否状況を調査し、改善が必要な施設については、施設の改築の時期にあわせ管理者と協議した上で、魚道の設置・改善等に関する指導・調整を図り、上下流の連続性の確保に努めます。
0113	男性	若狭町	・日頃の河川管理について治水対策があまりにも手薄であると思われる。例えば護岸が破損していても手直し工事が遅い。このため地係が危険に常時さらされている。	・河川管理施設の巡視・調査・点検を定期的実施し、洪水等の外力により河川管理施設に損壊等が生じた場合には、速やかに災害復旧や修繕等の対策を講じます。 ・なお、護岸の破損箇所等を見つけた時は、敦賀土木事務所、もしくは役場に連絡をお願いします。	(意見への回答) ・河川管理施設の巡視・調査・点検を定期的実施し、洪水等の外力により河川管理施設に損壊等が生じた場合には、速やかに災害復旧や修繕等の対策を講じます。 ・本文 P. 21 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 に記載しています。	P. 21 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 (1)洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する維持管理 ①河川管理施設の維持管理 河川管理施設が洪水時に十分な機能を発揮できるよう河川管理施設の巡視・調査・点検を行うとともに、機能低下したのものについては、局部的な改良、復旧・修繕、機器の更新を行います。 洪水等の外力により河川管理施設に損壊等が生じた場合には、速やかに災害復旧や修繕等の対策を講じます。
0114	不明	美浜町	・水の流れをよくする。	・洪水の流下を阻害する河道内の堆積土砂の浚渫や伐木除去等、維持管理にあたっては、水際での水域と陸域の連続性の確保や、瀬・淵などの流れの変化といった河川環境に配慮し、多様な河川環境の保全・創出に努めながら計画的に行っていきます。	(要望への回答) ・洪水の流下を阻害する河道内の堆積土砂の浚渫や伐木除去等、維持管理にあたっては、水際での水域と陸域の連続性の確保や、瀬・淵などの流れの変化といった河川環境に配慮し、多様な河川環境の保全・創出に努めながら計画的に行っていきます。 ・本文 P. 21 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 に記載しています。	P. 21 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 (1)洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する維持管理 ②河道の維持管理 洪水の流下を阻害する河道内の堆積土砂の浚渫や伐木除去等、維持管理にあたっては、水際での水域と陸域の連続性の確保や、瀬・淵などの流れの変化といった河川環境に配慮し、多様な河川環境の保全・創出に努めながら計画的に行っていきます。
0115	不明	若狭町	・ハザードマップの活用方法について県より町に対し指導してほしい。	・迅速な避難活動の実現に向け、避難地・避難道路を明示したハザードマップが地域住民に理解され、いざという時の避難に備えられるよう、町と協働します。	(要望への回答) ハザードマップが地域住民に理解され、いざという時の避難に備えられるよう、町と協働します。 ・本文 P. 21 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 に記載しています。	P. 21 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 (1)洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する維持管理 ③防災機能の充実 また、地域住民の迅速な避難活動の実現に向け、連絡体制・情報伝達手段の強化や、避難地・避難道路を明示したハザードマップの作成等への支援、避難経路の確保等を行うとともに、「避難判断水位」等一般の人にも理解しやすいような水防用語を使用するなど、より効果的で受け手に分かりやすい情報の提供に努めます。
0116	男性	若狭町	・嵯峨隧道を協定どおりに運用すること。	・毎年、福井県嶺南振興局、美浜町、若狭町、美浜町漁業協同組合、海山漁業協同組合、三方湖辺水害予防組合で協定を結び、被害が甚大になるような時には水門を開けることになっています。 ・放水路を整備するまでの間については、このように対応していきます。	(要望への回答) ・放水路を整備するまでの間については、嵯峨隧道を協定どおり運用していきます。	P. 21 4.2.2河川の維持の種類及び施行の場所 (1)洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する維持管理 ③防災機能の充実 また、地域住民の迅速な避難活動の実現に向け、連絡体制・情報伝達手段の強化や、避難地・避難道路を明示したハザードマップの作成等への支援、避難経路の確保等を行うとともに、「避難判断水位」等一般の人にも理解しやすいような水防用語を使用するなど、より効果的で受け手に分かりやすい情報の提供に努めます。

番号	性別	所在地	意見の内容	意見に対する回答	対応	整備計画記載内容
0117	男性	若狭町	・嵯峨隧道が開くのなら、放水路はいらないような気がするのですが。(放水路できると、嵯峨隧道を開いて対応すると言ったので)というか、放水路も嵯峨隧道のように開かないことも起こり得るような気がします。湖岸の生活者のことを考えると難しい問題。	・計画規模の出水に対する放水路の規模は、180m ³ /sの排水流量を必要としますが、嵯峨隧道の排水流量は40m ³ /sの能力しかないため、別の放水路を設置するか嵯峨隧道の拡幅が必要となります。 ・しかし、嵯峨隧道の活用は、日向湖の現状(閉鎖性水域であり、養殖業が盛んである)や河川管理施設ではないことを考えると治水計画上の運用は困難であるため、外海へ放流する新規の放水路を計画しています。	(意見への回答) ・嵯峨隧道の排水能力は十分ではなく、閉鎖性水域への放流は地域社会への影響が大きいこと、また河川管理施設ではないことから治水計画上の運用が困難であることなどを考慮し、新規のトンネル放水路を計画しています。	P. 18 4. 1河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要 久々子湖・水月湖・三方湖において、整備計画の目標とする概ね30年に1回程度発生する降雨による洪水での湖の水位上昇に対し家屋の浸水被害を防ぐため、水月湖から世久見湾に放流するトンネル放水路を建設します。(水月湖の計画高水位T.P.+1.00m)
0118	男性	若狭町	・なぜ、海山→塩坂越のトンネルを掘るのか? その場所には海中公園が近くにあり、周辺住民が多いため多大な影響を及ぼすと考える。それなら梅丈岳の東を掘ればよいと思われる。(アンケート青丸②を参照)あそこなら早瀬川により近いので、環境の影響は少なく、漁業被害は少ないと思われる。よって提案している場所より、梅丈岳の東を掘った方がよいと考える。	・「梅丈岳の東ルート(水月湖北側～美浜湾のルート)」についても検討した結果、今回の「海山～塩坂越のルート」と比較し、放水路流入側・吐口側の地形条件が悪く、ルートも長くなり工事費が高くなるため選定していません。 ・なお、今回計画しているトンネル放水路の整備にあたっては、湖内硫化水素の巻き上げや海域への濁りの流出による環境への影響が懸念されるため、整備実施区域及びその周辺区域を対象とした環境調査の結果等を踏まえ学識経験者の助言を受けながら、環境への影響が極力小さくなるように努めます。	(意見への回答) ・複数案の比較を行った結果、今回計画しているトンネル放水路ルートを最適案として計画しています。 ・なお、トンネル放水路の整備にあたっては、環境調査の結果等を踏まえ学識経験者の助言を受けながら、環境への影響が極力小さくなるように努めます。	P. 23 4. 2. 2河川の維持の種類及び施行の場所 (3) 河川環境の整備と保全に関する維持管理 ②動植物の生息・生育・繁殖地の保全 トンネル放水路の整備にあたっては、湖内硫化水素の巻き上げや海域への濁りの流出による環境への影響が懸念されるため、整備実施区域及びその周辺区域を対象とした環境調査の結果等を踏まえ学識経験者の助言を受けながら、環境への影響が極力小さくなるように努めます。